

| | | | | | |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | クオリティマネジメント論 | 担当 | 北野 達也 | 履修学年 | 3年 |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 選択 | 単位数 | 2単位 |

【授業目標・到達目標】

医療機関においては、患者安全管理・医療の質の向上を目指すべく、第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価認定、ISO認証取得等の取り組みが定着しつつある。その一方で、本来の質向上・機能改善という目的を見失い、これらの認証を取得することだけに捉われつつある。各医療機関においては、これら評価項目をツールとして院内医療改革を促進すべきであり、院内サーベイヤー(評価調査者)、院内医療ファシリテーター(推進者)、認定医療クオリティ・マネジャーの配置が急務である。この講義では、これら新たな医療専門職になるべく質管理全般の実践手法を学ぶ。

【履修注意】

携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁、10回以上出席を条件とする。
※「クオリティ・マネジメント論」は医療マネジメントコース推奨科目である。

【評価方法】

①期末テストによる評価:60%、②授業参加(積極的な授業参加、討論、発言、出席状況、レポートなど):40%

【試験について】

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件:総合(期末テスト及び授業参加・レポート等)による評価が60点未満の学生
※但し、総合による評価が40点未満の学生は不合格とし、再試験を実施しない。

【予習・復習】

各回授業内容に応じ、授業前予習(専門用語、関連文献等の検索)、授業後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり90分を目安に予習・復習を行うこと。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|--------------|--|
| 1 | Introduction | クオリティ・マネジメントとは?医療の質・安全管理の重要性 |
| 2 | 医療の質管理Ⅰ | 医療質・安全管理部門、医療クオリティ・マネジャー、評価調査者 |
| 3 | 医療の質管理Ⅱ | TQM、質管理・質保証・質改善とその阻害要因、各種支払方式 |
| 4 | 医療の質管理Ⅲ | 航空業界から学ぶ品質管理、ISO、品質マネジメントシステム |
| 5 | 医療の質管理Ⅳ | AHRQ、クリニカル・パス、品質マネジメント・サイクル、質の最適化 |
| 6 | 医療の質管理Ⅴ | 公益財団法人日本医療機能評価機構の役割、病院機能評価 |
| 7 | 医療の質管理Ⅵ | リーン生産方式、医療の質と効率性、質改善へのアプローチ |
| 8 | 中間まとめ | 1~7まとめ(レポート) |
| 9 | 医療の質評価Ⅰ | 医療の質の評価、アウトカムの評価尺度、患者満足度 |
| 10 | 医療の質評価Ⅱ | クリニカル・ガバナンス、内部監査、ワークショップ、Team Building |
| 11 | 医療の質評価Ⅲ | 臨床評価、Evidence Practice Gap、P4P、継続的な質評価のあり方 |
| 12 | 医療の質評価Ⅳ | 組織マネジメント評価、人的資源管理、Non-Technical Skills |
| 13 | 医療の質管理演習Ⅰ | 病院・診療所における質管理の現状と改善手法について:演習Ⅰ |
| 14 | 医療の質管理演習Ⅱ | 継続的な質保証のための院内組織管理体制構築の手法:演習Ⅱ |
| 15 | 医療の質管理演習Ⅲ | 本邦における医療の質・安全管理体制の確立について:演習Ⅲ |
| 16 | 期末試験 | 15コマの復習・確認・まとめ |